２４．鎌倉街道（かまくらかいどう）―上道（かみつみち）

選定箇所：伊勢根（埼玉県小川町）～赤浜（寄居町）、大林坊～川角（毛呂山町）

概要：鎌倉街道上道は、鎌倉から埼玉県西部の台地・丘陵地帯を抜け、北部の児玉郡から群馬県藤岡市方面に抜ける。街道の周辺は、中世城館や寺社、宿などが形成され、幾多の合戦の舞台にもなり、文化・軍事・物流の幹線ルートとして重要な役割を果たした。埼玉県内には、台地から低地へ向かう転換点に、地面を逆台形状に掘削して道を造りだす掘割遺構が多数確認されている。なかでも、小川町の大字伊勢根、寄居町の大字赤浜、毛呂山町の大字市場字大林坊には掘割遺構が顕著に残る。

鎌倉街道大林坊～川角（毛呂山町）